社内向けプレゼンと社外向けプレゼンのおもな違い

	社内向け	社外向け
（1）相互理解	・プレゼン者は聞き手のことを知っている ・聞き手もプレゼン者のことを知っている	・相互理解がほとんどない
（2）状況把握	・社内の問題点などはおおむねわかっている ・実質的な意思決定権者、意思決定プロセスもわかっている	・あらかじめ先方から提示された問題点しかわからない ・形式的な意思決定プロセスしかわからない
（3）リスク	・失敗したとしても、大目に見てもらえることが多い。「努力」自体は認められやすい	・失敗（特に無礼・不誠実なプレゼン）をすれば、自社全体の信用を傷つける
（4）プレゼン環境の把握	・社内の会議室やプレゼン機材を使うので準備が容易である。トラブルにも対応しやすい	・先方の会議室や機材などは事前に把握しにくい。トラブルに対応しづらい